

【発行】大船渡仮設住宅支援事業
〒022-0004
岩手県大船渡市猪川町字長洞 62-1
大船渡仮設住宅支援事業事務局内
TEL : 0120-628-638
E-Mail : ofnt_otoiawase@yahoo.co.jp
Web : http://ofunatocity.jp

はまらい

大船渡仮設住宅 支援員新聞

No.4 11月号
2012.



待ちわびた！ さんまの香りに長い列

第26回

三陸大船渡さんままつり

震災後2年ぶり

10月21日、さわやかな秋晴れの中「大船渡さんままつり」が開催されました。2年ぶりの開催となった今回は場所を大船渡市民文化会館（リアスホール）へ移し、1万2千名もの来場者がありました。

活しました。9時半から始まったオープニングセレモニーでは、さんままつり実行委員長と大船渡市長が、紅白幕で飾られたステージで震災後初の開催を喜びました。10時のスタートに合わせ各コーナーでは、物産やお弁当、生さんま等の販売を開始。さんままつりの1

全国各地からの後押しで決定

早朝6時半に雫石町を出てきたという夫婦は「大船渡のさんまが食べたくて2年待った。今日はこのあと沿岸で遊んで帰ろうと思っ

ています。少しでも被災地の助けになれば」と話しました。今年には特別な思いで来場されている方も多いい

に並んでいました。すでに手に入れた方々はいち早く席を取り、子供達がおいしそうに頬張る姿も多く見られました。

復活を遂げた三陸大船渡さんままつり。会場は炭火焼のいい匂いと笑顔で満ちあふれていました。



▲ 待ちに待った、さんまを受け取る瞬間

赤崎町大立仮設団地 「こんなことしたいな」 をサポートする

支援員ニュース
おじゃましまーす



▲ 皆さんが笑うと、こちらまでつられて笑ってしまいます

赤崎町、大立仮設団地の集会所では、主に75歳以上の住民の方々の集まり、「めんこいサロン」が開かれています。多い時は15人ほど集まって、ボランティアの方から歌や体操を教えてもらったり、用意された昼食と一緒に食べたりして楽し

みます。住民の方々は、まるで親友同士のように笑ったり、真剣な顔で話を聞いたりし、とっても盛り上がっていました。このサロンが始まったきっかけは、デイサービスへ行っている住民の方から聞いた話でした。「デイサービスではみんなでご飯食べた話したり、風呂に入るのも好きなんだ。」団地内でデイサービスに通っている方は数人でしたが、支援員は「お風呂は無理だけど、他の住民さんにもデイサービスのようなことをしてあげたい」と考えたのです。そこで食事をどこから調達しようかと考え、

気を休められる場所に

めんこいサロンの他にも、めんこいルームという談話室があります。これも住民の方々の要望があつて用意した部屋。「休日は子供や孫たちをゆっくり休ませようとする、部屋が狭くて自分のいる場所がない」と相談があつたそうです。そのため

ターへ連絡し事情を説明しました。ちょうどボランティアという団体があったので、そこへ依頼し、来れな

皆さんで集まれる場所を確保し、今では、ほぼ毎日住民が利用していて、手芸などそれぞれが好きなことをされているようです。住民のことを考え、できる限りのサポートをしている支援員がとても力強く感じました。

「あの人」にインタビュー

地元から都市へとつなぐ、代弁者になる

新聞やテレビでよく取り上げられている、三陸とれたて市場の代表、八木健一郎さん。震災以前からこの土地で漁業に携わり、インターネットで海産物の販売をしています。

Q. なぜ大船渡で漁業に携わることにしたのですか？

実は、水産とはあまり関係ない研究者を目指していたんですが、ひょんなことから道がそれて、やることなくなくなった。そこで大学時代に関わりがあった、大船渡の漁業者のもとへ再び出入りするようになりました。学生時代の漁業は教科書の中だけで、面白くもなるともなかった。でも現場に実際近づいてみたら、面白さとか、すごさとか迫力とかいうものが伝わってきたんですよ。都市部で求められているような楽しみが、誰も手をつけずに埋もれているような感じだった。例えば面白い話がある。地元の人からしたらあわびが飽きる程あって、しようがないからカレーに入れちゃった。子供

Q. 地元の方とどう関わり、どんな活動をされたのですか？

まず「三陸」をブランドにしたかった。最初、僕は三陸と聞いて、リアス式海岸しか思い浮かばなかった。実際は資源が豊かなのに、白地図みたくになっているんですよ。このことを地元の人に気づいて欲しかった。発信したかったんですよ。例えば、熱海って賑わっているでしょ。駅前にはみやげ物屋が



▲ 真剣に、いろんな表現や言葉で教えてくれた

並んでいる。観光産業が盛んなんですよ。でも実際売っているのって、実は熱海のものに限らなかつたりするんですよ。もう地域がブランドになってしまってるから、買いたくなっちゃう。そういう魅力をつくっていききたいと思ったんです。それで、浜のおばさん達がやっているカキ剥きをビデオカメラで写したんですよ。インターネットでライブ中継みたいな感じで。船にもカメラを付けて実際の漁の様子を流したり、鮭の遡上を中継したこともありですよ。震災後は、全て失ってしまった漁業の人達を海に戻してあげたくて、

代表 八木 健一郎さん

Q. 現状とこれからのこと、教えて下さい

この会社がある場所は、この間までガレキだらけだったのに、今では人が集まってくるんですよ。お昼は宴会場のような感じです(笑)。被災前より関係が深くなりました。漁業をしていた人達は行く場所がなくなっただんで、ここに来るんですよ。朝から晩まで。愛着が湧きましたね。丘の人の仕事を知る機会にもなつたようです。

野さん。

その他にも気仙地域の復興、発展のために様々な活動に関わり、駆け回っているスーパーウーマンです。インタビューさせてくださった時、金髪に真に過ごそうって決めたの。いい年こいてこれれば良いと思います。

に胸を打たれました。金野さんは「今回のよ、つて伝えたい」とメ震災で自分自身の人ッセージされました。生が変わった気がして、筆者自身も夢をプレた。もうこうなつたセントされるのではなから、自分の人生は自由く、こつこつと自分の夢に過ごそうって決めたの。いい年こいてこれれば良いと思います。

今年、秋は三陸の雄大な自然と包容力を満喫できる気仙のお湯つこに、こころもぼかばかにしてみませんか。

寒くなったネエ！お湯つこへ行ぐべか

〜気仙の温泉三選〜

最近すっかり肌寒くなってきましたね。みなさんは秋をどのように過ごされていますか。今回は、気仙の温泉を3つを紹介しします。取材してきたのは、黒崎仙峡温泉、五葉温泉、夏虫のお湯つこです。

まず黒崎仙峡温泉は、お湯がやわらかく、皮膚病に効果があります。



▲ 黒崎仙峡温泉 初日の出を望みながらつかうことも

そして五葉温泉は、県内多数のアルカリ泉で、つかると肌がツルツルに!! 最後に夏虫のお湯つこは、ヤグジーなどがあり、腰痛のお客さんに好評です。さらに3つの温泉それぞれ地域の特徴を生かした食べ物もありますので、入浴した後にでもいかがでしょうか。

黒崎仙峡温泉の理事長、村上新一さんは「週に一回でも温泉に入って、のんびりして



▲ 夏虫のお湯つこ。紅葉のじゅうたんに囲まれて

編集後記

「地元の漁業者が愛くるしくてしょうがない」 今月号の「あの人にインタビュー」記事の三陸とれたて市場、代表の八木さんの言葉です。「愛くるしい」。わたしは、その一言に込められたあふれる想いを想像しながら、インタビューをしました。インタビューをする時、私は、インタビュー先の方が発するエネ

ギーを感じ、少しおこがましい言い方ですが、その時だけ、その方の人生を共に感じます。 今回の新聞はたくさんの方をインタビューしたため、さまざまな想いを感じることができました。「はまらい」のインタビューを受けてくださった皆様、ありがとうございました。(T)

新聞へのご感想は、こちらまで
大船渡市猪川町字長洞 62-1
大船渡仮設住宅支援事業
事務局内
TEL:0120-628-638
Mail: ofnt_otoiawase@yahoo.co.jp

今月のスマイル
人はものの見方しだいで
ハッピーになれるんだよ



▲ 私たちも元気になるくらい、キラキラの笑顔の金野さん

見方を変えれば、小さくても夢は身近にいつばいある。例えば、今日一日、健康で過ごせば、いかな、というのでも一種の夢。きちんとした夢を見

現在、三陸経済新聞の記者をしていて、インターネット上の情報サービ、ツイッターでは「夢プレゼンター☆美智子」と名乗っている金野さんの熱い思いを聞くと、赤なブーツを履いたっていいじゃない」と笑顔で話さ